

JKA 補助事業 2025年度 自己評価書

評価委員 齋藤施設長 魚津介護統括 森田相談員 宮沢介護支援専門員 岩本介護支援専門員
江野看護師 内田介護リーダー 石田介護リーダー 山中介護リーダー

評価日 12月4日 導入一か月後の自己評価 法人本部に報告

事業名 福祉機器の整備

設置日 2025年10月31日

目的 入浴リフト導入計画

入居者の入浴時における安全な移動の確保と快適な入浴環境の整備及び介助者の身体的負担軽減と業務の効率化を図る。

導入機器の仕様・性能

いうらリフト付シャワーキャリー LS-500

いうらバリュエーションレール LTF-100

評価

介護現場

機器導入により利用者の入浴方法が選択できるようになり、安全な移乗と快適な入浴が実現した。
また、介助者の腰痛予防と負担軽減ができた。
施設定員96名のうちリフト利用者を40名（2階3階の利用者合わせて）と想定したが、導入機器が1台（3階のみ）となった為、約20名程度の利用となっている。
寝台浴と比較して入浴時間が30分→25分へ短縮できた。
移動の安全性が向上したが、冬場の寒さ対策が必要。
入浴事故及びヒヤリハットは報告なし。
利用者の入浴方法の選択を再検討する。

施設長総合評価

入浴用の介護リフトの導入は、入浴者のサポート（体を支えたり・チェアーに座らせる移動）が安全に行えた。これにより利用者の身体的な負担を軽減させることができ、転倒防止など介護事故防止に寄与でき、入浴の質の向上がみられた。

課題

導入予定数が2台（2階フロア 3階フロア）→1台（3階フロア）である為、2階フロアの利用者のため導入を計画する。（補助金等申請予定）